

東京湾アクアライン800円

千葉県は8月1日から11年3月31日までの1年8カ月の間、ETC車に限り、東京湾アクアラインの通行料金を平日、土日祝日を問わず、普通車通常料金3000円を800円に、大型車4950円を1320円に引き下げる社会実験を開始した。

これにより、千葉県では地域経済の活性化と地域振興に結びつけるために、市町村や民間事業者等と連携して、観光の振興、企業誘致の促進や関連道路網の整備を進めて、恒久的な通行料金の引き下げにつなげていきたいとしている。

千葉県最低賃金 10月3日より726円

千葉県最低賃金審議会(会長 手塚和彰青山学院大学教授)は8月6日、千葉県最低賃金(時間額)723円を5円引き上げ

〔時間額726円〕

とすることを千葉秀木千葉労働局長に答申した。これを受け千葉労働局では異議申出の公示などの諸手続きを経て千葉県最低賃金を決

定、10月3日から改定された。

最低賃金の引き上げは、先の総選挙でも争点の一つになったが、千葉県でも最低賃金が生活保護水準を下回る「逆転現象」に対し、労働者側はこれとの整合性を求めている。

経営者側もこのことについては理解を示しているものの、コスト上昇は雇用にも影響を及ぼしかねず、アジア諸国との価格競争から生産拠点を海外移転を加速させれば、働く場所そのものが失われかねず、現在の厳しい経済情勢下では、生活保護との乖離は複数年で解消すべきであるとしていたが、今回の改定により千葉県における乖離は解消されることになった。

中小企業対策費1603億円

経済産業省は8月20日、10年度予算の概算要求額を発表した。

そのうち中小企業対策費は09年度当初予算比22.9%増の1603億円を計上。要求のポイントには景況悪化に対する緊急的な支援対策と、危機の後を見据えた経営力向上支援、新分野進出支援、商店街の活性化支援の4項目。

組合運営・企業経営研究会

千葉県中小企業団体事務局責任者協会(会長 長沢啓司千葉鉄工業団地(協)専務理事)は、8月25日、千葉市内において環境問題をテーマに「組合運営・企業経営研究会」を開催した。

はじめに「企業経営と環境問題への対応」と題して(独)中小企業基盤整備機構環境経営支援室の川島昭彦経営専門指導員が、廃棄物の減量化、環境汚染の防止や化学物質の安全管理、省エネルギー対策等、様々な環境・安全問題等に積極的に対応することは、わが国に求められている国際的な責務であり、中小機構では、中小企業を対象に、各種リサイクル法の規制への対応、化学物質の適正使用・適正管理の推進、環境管理・監査制度の国際規格への適切な対応や省エネルギー対策等への支援を行っている」と講演。

続いて野田工業団地(協)の会員企業(株)サンコー石川勝巳代表取締役が自社の環境経営の取り組みの経緯とグリーン購入、節電、節水、二酸化炭素排出抑制、廃棄物の発

生抑制等具体的なテーマごとの成果と問題点を挙げて、中小企業にとって環境問題に取り組むことの必要性を強く訴える事例発表を行った。

新型インフル10月がピークに

厚生労働省は8月28日、国内の新型インフルエンザ流行時の入院者数や重症者数などを予測した「流行シナリオ」を発表した。

患者は流行入りから8〜9週間でピークを迎え、国民の20%が罹患した場合、最高で1日に約76万人が発症し、4万6400人が入院する状態になると推計している。

国立感染症研究所の調べをシナリオに当てはめると、10月上旬に第一波のピークが訪れることになり、厚労省は「流行を少しでも小さくするためにシナリオを示して、各自治体や個人レベルでも感染拡大防止に取り組んでほしい」と呼びかけている。

また、万一感染してしまった場合には、二次感染を防止するためにも、事前連絡なく近くの医療機関を受診しないで、まず、保健所等の発熱相談センターに連絡し、

県等が指定する発熱外来などを受診するように注意を促している。

◎新型インフル相談窓口
6時〜22時(土日、祝日を含む)
TEL043-223-4411

金融懇談会

本会は、9月3日商工中金千葉支店において金融懇談会を開催した。当日は本会から佐藤専務理事、藤原事務局長はじめ14名の指導員が、商工中金からは渡邊千葉支店長、田村松戸支店長はじめ13名が参加し、最近の金融情勢や県内の組合設立状況と労働事情の報告が行なわれ意見交換した。

千葉のちから中小企業表彰

9月7日、千葉県は県内の中小企業で地域経済活性化へ貢献した企業や商店街の振興・発展に取組み地域の活性化に貢献した商店街を表彰する、千葉のちから「中小企業表彰」を行なった。

本会推薦の受賞者は次のとおり。
▼大栄陸運(株)▼榊リージック▼千葉ショッピングセンター商店街(振)▼(協)一宮スタンプ会